

一般公開
参加費無料
ハイブリッド

要事前申込
(締切1.23)



2025.1.25 (土)
13:00~16:50

鹿児島大学郡元キャンパス
法文学部1号館2階201教室



令和6年度地域マネジメント教育研究プロジェクト成果報告会
地域に生きる、歴史を生きる
高大生の歴史実践と協働型価値創造



少子高齢化や過疎化の進行にともない地域の文化・歴史・伝統の担い手が不足し消滅が危惧される現在、地域社会と地域資源（文化資源・自然資源）の未来のありかたについて考える機会が必要です。本プロジェクトは、地域の中心にあり続けた学校に焦点をあて、地域資源の発見・記録・保存・活用に取り組み、新たな価値を創出する高校生や大学生の活動を支援しています。

基調講演では、文化遺産マネジメントの視点から未来の文化遺産の創造に取り組む方法についてお話いただきます。活動報告では、令和6年度に実施した高校生・大学生の活動成果を報告します。戦争遺跡の活用が話題の中心です。実践活動を踏まえて議論することで、これからの地域資源との関わりかたについて一緒に考えましょう。



講師紹介

村野正景 Murano Masakage

1978年生まれ。静岡県出身。九州大学大学院比較社会文化学府博士課程退学。国際協力機構青年海外協力隊、九州大学大学院人文科学研究科助教授、金沢大学古代文明・文化資源学研究所客員准教授、京都府京都文化博物館学芸員などを経て、現在は静岡大学大学院情報学領域准教授。また京都府京都文化博物館特別研究員、公立小松大学次世代考古学研究センター特任准教授、公益財団法人古代学協会客員研究員などとして国内外で活動。

専門分野：
ミュージアム・スタディーズ、パブリック考古学、メソアメリカ考古学、文化資源研究

主な著作・論文：
「文化遺産の継承そして創造へ」『過去を伝える、今を遺す』山川出版社（2015年）、「学校で資料に出会う、気づく：資源化の実際と今後の活動可能性」『文化資源学』20（2022年）、「博物館DXと次世代考古学」雄山閣（共編、2024年）など多数。

スケジュール

12:30～ 受付開始
13:00～13:10 開会、趣旨説明

第1部 地域資料の未来

13:10～14:30

基調講演 村野正景（静岡大学大学院情報学領域）

「文化遺産創造へのチャレンジ：地域資料への気づきから経営へ」

地域のさまざまな資源をいかに保存・継承していくか。これは私たちにとって重要な課題です。ただし私はさらに付け加えたいと思います。「私たちは未来の文化遺産をうみだしているか」という問いです。本講演では、世界遺産からの学びや、学校資料・博物館、アートと考古学、建築とまちづくりなどの実践例を紹介します。そして文化遺産マネジメントの「価値体系」の枠組みを踏まえ、問いに対する講演者の考えをお伝えし、皆さんとの議論や今後の行動を見出すきっかけにしたいと思います。

14:30～14:50 休憩

第2部 活動報告

14:50～15:00 石田智子（プロジェクト代表）

「令和6年度活動の概要説明」

15:00～15:20 鹿児島県立指宿高等学校

「指宿高校の戦跡探究」

15:20～15:40 鹿児島県立古仁屋高等学校 ★リモート

「戦争遺跡を活用した地域活性化について—史跡奄美大島要塞跡を中心に—」

15:40～16:00 鹿児島大学法文学部考古学ゼミ

「足元に眠る戦争の痕跡—文化財から見る「穎娃」の過去と地域貢献—」

16:00～16:20 休憩

16:20～16:50 ディスカッション（質疑応答）、講評

16:50 閉会



対面/オンライン参加
要事前申込（締切1.23）

オンライン参加方法の詳細は
後日連絡します



問い合わせ | 鹿児島大学法文学部人文学科 石田智子 (ishida@leh.kagoshima-u.ac.jp)

助成 | 法文学部附属「鹿児島島の近現代」教育研究センター令和6年度地域マネジメント教育研究プロジェクト「地域に生きる、歴史を生きる：高大生の歴史実践と協働型価値創造」、令和6年度経営戦略経費「人文社会科学の知を分野横断で活用：データ・ヴィジュアルライズでコミュニケーションを加速させる人材の育成」